

プロフェッショナルをすべての学校に

—新しい教育CSRのカタチ—

教育学部 塩田研究室

研究の背景

現在、企業の教育CSR活動として小中学校への出張授業が行われていますが、その対象は都心部の学校が中心であり、地方の学校へはコストなどの面からあまり実施されておりません。しかし、**中山間地域や離島では、学校の小規模化に伴い、多様な大人と触れあう機会が少なく、キャリア教育の面から教育格差が問題**となっています。

さらに、従来の企業の出張授業では、講義や体験が中心の「インプット型授業」が多く、Society 5.0時代の教育には対応できていません。

そこで本研究では、全国どこの学校でも企業の教育CSR活動が実施できるように、**ICTを活用した遠隔での出張授業で創造的に問題発見・解決する能力を育てるアウトプット型**のキャリア教育教材を開発しております。

プロ学 3つの特徴と実践事例

① プロと共に「創造的問題解決」を実践

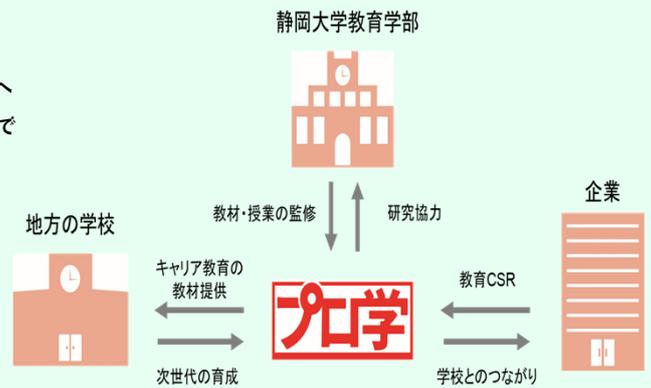
企業主導の「講義・体験型」授業から、先生主導の「創造的問題解決型」授業への転換。子どものアイデアに企業のプロフェッショナルがコメントを行うことで「プロに教えてもらう」から「プロと共に考える」モデルへ。

② 「低コスト」での効率的・効果的な遠隔授業の実施

ビデオ会議システムを活用し、低コストで効率的・効果的な遠隔授業を実現。教育格差が問題となる中山間地域や離島でも教育CSR活動を実施可能に。

③ 静岡大学教育学部を基盤とした授業・教材の開発

静岡大学教育学部塩田研究室と協働で教材開発や遠隔授業に関する研究的知見を共有。エビデンスベースによる効果的な遠隔授業・教育CSR活動を可能に。
(2019年 静岡大学ベンチャー企業認定)



大手食品メーカー
身近な食品ロスを減らす工夫を考えよう



大手OA機器メーカー
ものづくりの基本「整理・整頓」で
学校生活を改善しよう



大手電機メーカー
「MESH™」で日常生活を
便利にする工夫を發明しよう

プロ学の紹介と共同開発のご提案



塩田 真吾 准教授
(プロフェッショナルを
すべての学校に・代表)



安永 太地 研究補佐
(プロフェッショナルを
すべての学校に・事務局長)

(一社)プロフェッショナルをすべての学校にでは、静岡大学教育学部塩田研究室と共同でキャリア教育の教材を様々な企業とともに開発しています。